



おじいちゃん、おばあちゃん、長生きしてね！ 土浦市の敬老事業



市では、高齢者の方に敬意を表し、長寿を祝福するため敬老事業を実施しています。今年度は、令和4年8月1日時点で市内に住民登録があり、「今年度中に88歳を迎える方」に祝状を、「今年度中に100歳を迎える方」に祝金と祝状を、「市内最高齢の方」に祝状を贈呈しました。
今年度に100歳を迎える53人のうち、2人の方に長生きの秘訣や日々の楽しみを伺いました。



瓦谷小佐七さんと妻・和子さん

瓦谷小佐七さん(中村南五丁目)

大阪府で生まれました。18歳から5年間軍隊に入隊し、その後製材所や銀行などへの勤務を経て、68歳で茨城県に引っ越してきました。70代の頃は、趣味でお面や仏様を彫っていました。現在はシルバーカーを使用していますが、まだまだ元気に歩いております。



古仁所きみさん

古仁所きみさん(沖宿町)

かすみがうら市で生まれました。23歳で結婚し、農業をしながら2人の子どもを育てました。趣味は花の栽培と俳句で、天気の良い日は庭の草取りや野菜作りを行っております。

問高齢福祉課(☎826-1111 内線2480)

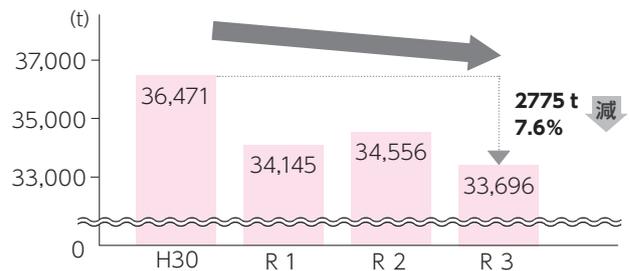
土浦市民のごみ減量大作戦

問環境衛生課(☎826-1111 内線2445)

家庭系ごみは減少傾向です

令和3年度のごみ排出量は、3万3696tでした。家庭ごみ処理有料化を開始した平成30年度と比較し、約2775t(7.6%)減となりました。

在宅時間が増えている状況のなか、市民の皆さんのご協力により、順調に減少傾向が続いています。引き続きごみの減量とリサイクルの推進にご協力をお願いします。



家庭ごみ有料化による歳入とその使い道

令和3年10月に家庭ごみ処理手数料の改定(値下げ)を行いました。令和3年度のごみ処理有料化による歳入は約1億9600万円でした。

そのうち約6割の約1億2200万円を、指定ごみ袋の作成および管理・流通費や手数料改定にともなう周知啓発などに使用しました。残りの約7400万円は、容器包装プラスチックや生ごみのリサイクルなどに使用しました。

容器包装プラスチック・生ごみリサイクル費 約7400万円 ▶

